

大会運営に際しての感染拡大防止ガイドライン

2021/2/15

札幌地区空手道連盟

今回の大会は、新型コロナウイルスにより全世界が混乱中、今年初めて行われる大会です。

今後、新型コロナウイルスの影響が長期化する懸念がある中、空手道を修行していくうえで、感染拡大防止を前提にリスクとの共存を踏まえ、前に進まなければならないと考えています。未だワクチンが開発されていない段階でこの時期が適切なかどうかは誰もわかりません。

したがって、我々は大会を企画しますが、参加の判断はそれぞれの道場、ご家庭の判断に委ねるしかありません。

どうか慎重に参加するかしないかを検討いただき、参加する際にはみんなで協力して、ガイドラインを遵守し、感染拡大防止、クラスター発生がないよう最大限の努力をお願いいたします。

●競技に際しての感染拡大防止ガイドライン

- ・選手1名につき、保護者(引率者)1名までとします(厳守)。
 - ※参加人数によっては保護者の入場数に変更がある場合があります
 - ※ソーシャルディスタンスのため会場の席は、団体ごとに指定させていただきます。
 - ※入場許可証を発行します。許可証のない保護者は会場内には入れません。
- ・開場前に敷地内で待機する際は、密にならないよう間隔を確保すること。
- ・カテゴリごとに時間を区切り、極力少人数制での大会運営を行います。
 - 会場への入退場は時間が重ならないように、前のカテゴリが退館後に、次のカテゴリが入館するものとします。
- ・大会関係者及び大会参加者の検温を実施するため受付を設けます。
(受付スタッフはマスク着用・フェースシールド併用の事)
(検温の結果熱が37.5℃以上の者は、入場はお断りします)
- ・団体責任者は、選手・監督・コーチ・保護者等の参加者連絡票を提出すること(氏名・団体名・連絡先等)
- ・体育館入場時に参加チェックシートを提出する。保護者、参加選手、それぞれ記入し提出。午前午後と2回入館する保護者は、その都度提出すること。
- ・競技場・練習場の出入の場合は、必ず設置してあるアルコール消毒を徹底すること。
- ・トイレでの手洗いを徹底すること。
- ・各自で、ソーシャルディスタンスの確保徹底をお願いいたします。

●審判について

- ・審判は全員マスク、フェイスシールドを着用すること。
- ・副審は旗を持つときは必ずゴム手袋を着用すること。
- ・審判会議等の打合せは、十分な距離を取り、密にならないよう行う。
- ・手洗い、手指消毒の徹底。

●選手・監督・コーチについて

- ・監督、コーチは各団体8名までとし、アリーナへの入場は4名までとします。(監督IDを携帯すること)
 - ※アリーナ入場時は別途アリーナ入場用のIDを提示すること。
 - ※コート数によっては監督、コーチの入場数に変更がある場合があります
- ・監督、コーチは必ずマスクを着用すること。
- ・監督・コーチは大きな声で指導しない事。(試合中は無言とする)
- ・選手について試合中、形選手はマスク着用は任意、呼称は大声を出さず、はっきりしっかり言う。気合いは可とするが、長すぎる場合は不可です。
組手選手はメンホーを着用し、口元をメンホー用シールドで塞ぎ、飛沫が飛ばないようにした中で、気合いは可とする。マスクの着用は不可。
試合以外の待機、練習中などはマスクを着用し感染拡大防止に努めるものとする。
- ・選手は試合用の安全具(メンホー、拳サポーター、ボディープロテクター、帯等の共有は認めない)。
 - ※赤青帯等も貸し出しはしませんので、各自でご用意をお願いいたします。
- ・選手監督、コーチは競技場・練習場以外は、裸足では歩かない事。(必ず履物を着用すること)
- ・大会を通じて、握手、ハイタッチ、ハグなどは行わない事。
- ・手洗い、手指消毒の徹底。

●保護者(引率者)について

- ・2階の応援席からの応援とし、各団体指定の場所からの応援とする。競技場には絶対降りないこと。
- ・応援席は指定の場所以外での応援は行わないこと。
ビデオ撮影などの場合、最前列での撮影は許可しますが、2mのソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用、声での応援はしないこと。
- ・選手練習場には入らないこと。
- ・必ずマスクを着用すること。
- ・大きな声を出さないこと。
- ・手洗い、手指消毒の徹底。
- ・保護者(引率)1名につき、お子様が午前、午後にもたがって出場する場合は、兄弟姉妹の入場を認めます。ただし、可能な限り別々に来るようお願いします。

●選手の入替え・消毒について

- ・各カテゴリごとに試合時間を区切りますので、自分のカテゴリ以外の時間は体育館へ入場できません(保護者、選手含む)。
 - ・試合が終わったら速やかに会場から退場するものとし、指定の応援席へ戻ることにする。
 - ・カテゴリの入替え(体育館への入館退館)は、退場15分、入場に15分とします。
 - 前のカテゴリの選手、保護者が体育館より退場後に、次のカテゴリの選手が体育館に入場することとします。
 - ・体育館前での待機は行わず、大会実行委員より次のカテゴリの入場を連絡(メール、LINE等)しますので、そちらを確認後入場するものとします。
 - ・入場、退場、待機など密にならないようにし、速やかに行動するものとします。
 - ・退館時は、各団体ごとに指定の応援席を消毒、その他利用した場所は都度消毒を行うこととする。
 - 椅子、手すり、等、応援席の消毒
 - トイレ、洗面所、練習場所、等、利用した場所の消毒
- ※消毒に際しては、除菌シート、アルコール消毒液等を各自で用意し、消毒を行ってください。

●参加者名簿・参加確認シートの記入について

- ~~・参加団体は、参加者名簿を事前に提出し、連絡先、その他を大会組織委員会に提示することとする。~~
 - ~~・※提示のない団体の参加は認めない~~
 - ・参加選手、保護者(引率者)は事前に参加確認シートを記入し、当日実行委員に提出する(各団体がまとめて提出)
 - 連絡先(氏名、住所、電話、メール)
 - 体温
 - 過去2週間の感染拡大地域への訪問歴があるか
 - 家族、その他接触者が感染拡大地域への訪問歴があるか
 - 過去2週間の発熱や感冒症状があるか
 - 防具を消毒してきたか
 - 自己責任の旨の署名
- ※提示のない者の参加は認めない

●大会開催(中止)ガイドラインについて

- ・以下中止の要請が出た場合、大会を中止するものとする。
 - 国、北海道、札幌市などから、大会中止の要請、緊急事態宣言、その他同等の宣言などが出た場合
 - 全空連、道空連、または、札幌地区連が、中止した方がよいと判断した場合
 - 会場となる体育館でコロナ感染者が出た、クラスターが発生したなど、体育館側から中止要請が出た場合
- ・大会開催中止の目安
 - 札幌市のコロナ感染者が二桁、1週間以上続くようであれば、大会の中止を視野にいれ、組織委員会で大会開催の協議をする。
 - その他、選手、保護者、審判等の安全面を考慮し、組織委員会で中止、開催等の判断を行う。

●不当な扱い・差別の禁止

- ・万が一、感染が発生した場合において、感染者が一番の被害者であることを念頭に、感染した者や道場の特定、誹謗中傷は絶対にしないようにお願いします。

後日、全空連や道空連の指導により、ガイドライン追加があると思います。
その場合は、札幌空連のHPに掲載するとともに各団体へお知らせ致します。